

茶座「いま・はいま」第15弾

「自然からの贈りもの (Gift) ~大地からの発信~」

6月11日(火)~11月12日(火)

『野鳥に魅せられて!』

~恐竜の進化から現在の鳥まで~

6月11日(火) 午後7時~9時 姫路市市民会館5F 第1教室



環境省モニタリングサイト1000
シギ・チドリ類調査員

日本野鳥の会会員

三木敏史

プロフィール

1942年、姫路市生まれ

1961年、淳心学院高等学校卒業

当時の富士製鉄に入社し 70歳で新日鉄を退職

出版・著書

写真集：水辺の貴婦人セイタカシギの繁殖記録Ⅱ (2023年発行)

写真集：水辺の貴婦人セイタカシギの繁殖記録Ⅰ (2021年発行)

Strix論文：兵庫県におけるセイタカシギの初繁殖記録

1965年11月23日、氷ノ山登山で出会った青年がリックから双眼鏡を取り出し、何かを見ている。何を見ているのか尋ねると、野鳥を見ているとのこと。当時の私は籠の中にいるのが野鳥とばかり思っていた。彼と会うたびに野鳥の話、だんだん野鳥に魅かれていった。高度成長期の公害垂れ流しで生態系に大きな影響を与えていた時期です。野鳥保護が必要と考え彼と西播愛鳥会を立ち上げた。特に影響があるのは干潟を必要とする1万数千Kmを渡るシギ・チドリ類です。彼らは大きさの差はあるが、同じような体形・色彩をしていて見分け難くバーダーには敬遠されている要因のシギ・チドリ類は夏羽・冬羽・中間羽・成鳥・幼鳥などの見分けが必要です。

30年前に環境省のシギ・チドリの調査が始まり西播地区の調査を依頼されました。もちろんボランティア活動です。2003年に環境省生物多様性センターがモニタリングサイト1000の事業を始め移行し、今年年間7ヶ月間の調査を継続中です。

その中でも、絶滅危惧種ⅠA (CR) にされてしまったヘラシギです。2000年以降激減しました。現在の生息数は300羽以下で2030年には絶滅するとまで言われています。

2020年のセイタカシギの兵庫県初の繁殖です。旅鳥が姫路市で繁殖したのです。都府県では7番目の記録です。



主催 姫路地方文化団体連合協議会 (ひめじ文連)

〒670-0083 姫路市辻井5丁目5-36 TEL 079-290-5450

ホームページ bunren.himegimi.jp メールアドレス bunrenhimegimi@yahoo.co.jp

後援 神戸新聞社 姫路市 公益財団法人姫路市文化国際交流財団

参加費 500円
5回通し券
2000円

茶座「いま・はいま」第15弾

「自然からの贈りもの (Gift) ~大地からの発信~」

姫路市市民会館5F 第1教室

	テーマ	講師
第1回 6/11 (火) 19:00 ~	野鳥に魅せられて！ ~恐竜の進化から現在の鳥まで~	環境省モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査員 日本野鳥の会会員 三木敏史
第2回 7/ 9 (火) 19:00 ~	川に棲む虫たち ~高校生とともに見つめた水生昆虫の社会~	高等学校講師 久後地平
第3回 9/10 (火) 19:00 ~	植物園における 生物多様性の取り組み	姫路市立 手柄山温室植物園研究員 松本修二
第4回 10/ 8 (火) 19:00 ~	ど素人から始めた山仕事 ~人と共存し、安全を守りたい~	山吉・YAMAICHI 代表 長谷川亜佐人
第5回 11/12 (火) 19:00 ~	大絶滅の時代に生きる ~開発等による生物種の激減と それに追い打ちをかける温暖化~	姫路獨協大学非常勤講師 元姫路市立水族館館長 市川憲平